

令和5年10月13日

保護者各位

鳥栖市立鳥栖中学校
校長 中島 達也

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和5年度全国学力・学習状況調査について

令和5年4月18日、下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国の平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・評価の観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」において、全国の平均正答率を下回っていました。しかし、「話すこと・書くこと」の領域については、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する問題」や「相手の質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する問題」、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題」では、全国の平均正答率を大幅に上回っていました。

(2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・評価の観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」において、全国の平均正答率を下回っていました。また、4つの領域全てにおいても、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「 $12\left(\frac{x}{4} + \frac{y}{6}\right)$ を計算する問題」や「計算結果がいつでも4の倍数になることを説明する問題」、「四分位範囲を求める問題」では、全国の平均正答率を上回っていました。

(3) 英語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・評価の観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」において、全国の平均正答率を下回っていました。また、4つの領域全てにおいても、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する問題」では、全国の平均正答率と同程度でした。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校生徒の姿

- ・「将来の夢や希望を持っていますか」の質問に対して、肯定的回答をしている生徒の割合は、全国の割合を大幅に上回っていました。多くの生徒が、目標に向かって前向きに学校生活を送っていることがうかがえます。
- ・「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の質問に対して、肯定的回答をしている生徒の割合は、いずれも全国の割合を上回っていました。多くの生徒が、毎日の家庭生活を規則正しく過ごすことができていることがうかがえます。
- ・「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）」の質問に対して、「2時間以上勉強している」と回答した生徒の割合は、全国の割合を大幅に下回っていました。

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。	本校%	全国平均%
「3時間以上」	7.6	10.3
「2時間以上、3時間より少ない」	15.2	23.4
「1時間以上、2時間より少ない」	28.1	32.1
「30分以上、1時間より少ない」	26.9	17.0
「30分より少ない」	17.0	9.9
「全くしない」	5.3	6.0
その他・無解答	0	0.2

4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・考えを整理したり、広げたりするための「話し合う活動」を取り入れた授業実践を進めていきます。
- ・電子黒板や学習用端末等のICT機器を活用して、視覚的に課題を提示し、生徒の興味・関心を高める授業を行います。
- ・国語では、文脈に沿った意味の調べ学習を行い、こまめに小テストを実施します。
- ・数学では、授業の始めに既習事項の復習を行い、授業の終わりには、振り返りシートに数学用語を使って振り返りを書くように指導します。
- ・英語では、写真を掲示し、「いつ」「どこ」などオープンクエスチョンを考えさせます。また、発表の活動をさせる際、疑問文も考えさせます。
- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

【学習時間：学年＋1時間を目安にしましょう。】

◎毎日、決まった時間に家庭学習を行うように声かけをしましょう。

◎情報通信機器の使い方について、ご家庭でしっかりとお子さんと話し合い、各家庭でルールを決めましょう。

◎学習内容や宿題を家庭内での話題にし、家庭学習を取り組ませましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

◎お子さんの「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを整えるようにしましょう。

◎学校便り・学年便り・ステップアップノート等をご覧いただき、学校での出来事や部活動のことなどについて話し合う時間を取りましょう。

◎お子さんの「結果にかかわらずがんばったこと」を見つけ、積極的に褒めましょう。